

# オンラインシラバス 中学2年生 インターナショナルコース(SG)

SG 現代文	2
SG 古典	3
SG 歴史	4
SG 数学 $\alpha$	5
SG 数学 $\beta$	6
SG 理科 I	7
SG 理科 II	8
SG 英語	9
SG English	10

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	現代文	SG	3	吉田・蔭木

到達目標
<p>①説明的文章については、精緻な文章読解を通じ、筆者の主張を正確に理解する力を養う。</p> <p>②文章の読解を通じ、社会的な課題や哲学的な論点についての視野を広げるとともに見識を深める。</p> <p>③筆者の主張を多角的に検討し、地震の意見を主体的に構築・表現しうる力を養う。</p> <p>④自分の意見を発表したり記述したりする訓練を通じ、レポートや論文を書くための素養を身につける。</p>

授業の進め方・学習方法
<p>集団授業を基本とし、ディスカッション、発表などの取り組みを通して自分の意見を構築・発表します。</p> <p>漢字テストや単元のテストはその都度告知します。また、副教材として「ちくま評論入門」を使用することがあります。</p>

授業スケジュール	
1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説「タオル」(重松清)</li> <li>評論文「日本の花火の楽しみ」(小野里公成)</li> <li>「水の山 富士山」(丸山敦尚)</li> </ul> <p>1学期中間試験</p>
1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説「走れメロス」(太宰治)</li> <li>評論文「紙の建築」(坂茂)</li> </ul> <p>1学期期末試験</p>
2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説 日本文学を読む</li> <li>評論文「ガイアの知性」(龍村仁)</li> </ul> <p>2学期中間試験</p>
2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>随筆「夢を跳ぶ」(谷真海)</li> <li>詩「短歌の味わい」(穂村弘)</li> </ul> <p>2学期期末試験</p>
3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説 海外文学を読む</li> <li>評論文「学ぶ力」(内田樹)</li> </ul> <p>学年末試験</p>

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心として平常の活動を含み総合的に評価する。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
伝え合う言葉 中学国語 2	教育出版	1年次より継続使用
ちくま評論入門	筑摩書房	
意味から学ぶ頻出漢字3000	第一学習社	

担当者からのアドバイス
<p>現代文の要は何よりも授業です。テキストを正確にインプットする力、自分の意見を自分の言葉で表現する力を養うために、授業に集中して臨んでください。また、自分自身の意見だけでなく、他者の意見に耳を傾け、コミュニケーションすることで成長していきましょう。わからない言葉や漢字は事前にノートにまとめておく等の基礎的な学習も怠らないように。</p>

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	古典	SG	2	河野・吉田

### 到達目標

- ・ 古典作品を通して教養を広げ、様々な価値観や考え方を身につける
- ・ 表現の豊かさを味わい、その表現の機微を敏感に捉える力を育成する。
- ・ 文語の文法を学び、今年度は用言の活用について理解する。

### 授業の進め方・学習方法

- ・ 古文と漢文の有名作品をバランス良く読み進めていきます。
- ・ 単元ごとに作品を読んで考えたことや感じたことを共有していきます。
- ・ 基本的な古文単語については小テストを随時行い、定着を図ります。

### 授業スケジュール

1学期	【用言の活用の種類と活用形 復習】 古文『伊勢物語』「芥川」 漢文「矛盾」
1学期中間試験	
1学期	【助動詞】 古文『平家物語』「敦盛の最期」 漢文「杞憂」
1学期期末試験	
2学期	【助動詞】 古文 和歌 漢文「推敲」
2学期中間試験	
2学期	【助動詞】 古文『土佐日記』 漢文 漢詩
2学期期末試験	
3学期	【助動詞】 古文『おくのほそ道』 漢文「春望」
学年末試験	

### 成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心として平常の活動を含み総合的に評価する。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

### 教科書・教材

書名	出版社	備考
伝え合う言葉 中学国語2	教育出版	
体系古典文法	数研出版	
古文単語315	桐原書店	

### 担当者からのアドバイス

古典に慣れ親しみながら、そこから得た情報を文法的に整理していきます。古典には二つの顔があります。一つには、私たちの言語文化に近い日本語としての顔。もう一つには、私たちの言語文化から遠い一種の外国語としての顔。したがって、古典を勉強するときにはその二つの側面に気をつけることが重要です。現代ではほとんど古語も漢語も日常的には使われません。ということは、一種の外国語学習と共通するものがあります。外国語を読む際に必要となるものは、語彙と文法です。こつこつとこの二つを補完しながら積み重ねていくことが古典でも大切になってきます。近さと遠さ。これらを意識して楽しく古典を学習していきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
社会	歴史	SG	3	岸野

到達目標
(1) 各国の歴史の流れを把握した上で、それぞれを関連付けるといふ、タテとヨコの軸を意識した理解を深める。 (2) 資料・史料読解をすすめることで、内容を適切に要約する力、多面的・多角的に考察する力を養う。

授業の進め方・学習方法
(1) 各国の歴史の流れを把握した上で、それぞれを関連付けるといふ、タテとヨコの軸を意識した理解を深める。 (2) 資料・史料読解をすすめることで、内容を適切に要約する力、多面的・多角的に考察する力を養う。

授業スケジュール	
1学期	日本における近現代 (江戸時代の日本と東アジア～日露戦争)
1学期中間試験	
1学期	近代化の進展 (イギリスの革命とアメリカの独立～イタリア・ドイツ統一とロシアの近代化) 産業革命 (産業革命で変わる社会～アメリカの拡大と科学技術の発展)
1学期期末試験	
2学期	第一次世界大戦とその影響 (帝国主義の広がり～日本における大衆社会の形成) アジア諸国の動向 (「西洋の衝撃」と西アジアの変化～中東インドの民族自決の行方)
2学期中間試験	
2学期	大衆社会の形成と社会運動 (アメリカの繁栄～政党政治と国際協調外交の発展) 揺らぐ国際秩序 (世界恐慌～太平洋戦争)
2学期期末試験	
3学期	戦後社会について (戦後処理と日本の改革～冷戦の展開と日本の独立) グローバル化と私たち (日本の国際社会復帰～第三勢力の形成)
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を基準として評価する。毎時間のワークの取り組み状況や、適宜課される課題により平常点をつける。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
明解 歴史総合	帝国書院	

参考書			
書名	著者	出版社	備考
明解 歴史総合ノート		帝国書院	
明解 歴史総合図説 シンフォニア		帝国書院	

担当者からのアドバイス
歴史を学ぶ醍醐味は、「なぜ？」を突き詰めていくことだと思います。 基礎的な歴史的知識を身に付けた上で、一つ一つの出来事について、その原因や背景を探究していく、この作業の繰り返し、これからの時代に求められる力を養うことにつながるでしょう。 この授業では、事象の因果関係や背景などにも言及を加え、日本史・世界史の枠組みを超えた、ヨコの繋がりも大事にしながら展開していきます。授業を通して、今の社会を俯瞰して考える力を養ってほしいと思います。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学α	SG	3	山口

### 到達目標

高校で数学を学ぶために必要な式の計算や方程式、関数の基本的な考え方を習得することが目標である。  
特に、代数・幾何を問わず重要である無理数の考え方・四則について、十分な演習によりスムーズに出来るようにする。  
また基本内容を十分に理解した上で関数・方程式の発展的な内容に触れて、様々な考え方、表現の仕方について学んでいく。

### 授業の進め方・学習方法

〈授業の進め方〉授業は講義を中心に基礎を確認し、演習や小テストに取り組みながら定着を図る。  
〈学習方法〉①授業ノートを丁寧にとる。  
②授業があった日には帰宅後にノートを読み返す。  
③宿題だけで終わりにせず、積極的に問題集に取り組む。  
④積極的に質問する。

### 授業スケジュール

1学期	体系数学2 代数編 第1章 式の計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>多項式の計算</li> <li>因数分解</li> <li>式の計算の利用</li> </ul>
1学期中間試験		
1学期	第2章 平方根	<ul style="list-style-type: none"> <li>平方根</li> <li>根号を含む式の計算</li> <li>有理数と無理数</li> <li>近似値と有効数字</li> </ul>
1学期期末試験		
2学期	第3章 2次方程式 第4章 関数 $y=ax^2$	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次方程式の解き方</li> <li>2次方程式の利用</li> <li>関数<math>y=ax^2</math></li> <li>関数<math>y=ax^2</math>のグラフ</li> <li>関数<math>y=ax^2</math>の値の変化</li> </ul>
2学期中間試験		
2学期	第4章 関数 $y=ax^2$	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数<math>y=ax^2</math>の利用</li> <li>いろいろな関数</li> </ul>
2学期期末試験		
3学期	第6章 確率と標本調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの代表値</li> <li>データの散らばりと四分位範囲</li> <li>場合の数</li> <li>確率の計算</li> </ul>
学年末試験		

### 成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の割合が80%、課題試験の結果・小テストの結果・宿題の提出状況の割合が20%、合わせて100%として評価する。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

### 教科書・教材

書名	出版社	備考
体系数学2 代数編	数研出版	
体系問題集 数学2 代数編	数研出版	

### 担当者からのアドバイス

学校の授業は学習においての基本であり、その知識を理解し使えるようにすることが、その後続く内容において重要な役割を持っています。授業で生じた疑問はできるだけ早く解消することを心掛けてください。正しく理解していくことを積み重ねることにより、発展的な課題に前向きな取り組みをしていく姿勢ができてきます。ただし、得た知識を使い正しい結論を求めようとするだけでなく、結論までの過程も重要であり、これを見つげ出すための力をつけるには、積極的に日々の演習をしていくことがとても大切なことです。計算でも、記述でも有効であることは気にとめておきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学β	SG	3	坂内

### 到達目標

これまでに学んできた知識をもとに、相似や三平方の定理など、幾何学で重要な単元を学ぶ。多くの証明方法に触れ、思考の多様性を養っていく。この過程で得た考え方などを共有していくことで、より確かな知識を身に付けることを目指す。

### 授業の進め方・学習方法

#### <授業の進め方>

定理の証明や問題演習において、自ら考える姿勢を大切にするとともに、自身の考えを発表する機会も設けていく。また、内容の定着を確認する小テストを適宜実施する。分野によっては中学範囲にとどまらず高校範囲の内容にも踏み込み、効率的に学習し本質的な理解を目指す。学習の理解度を見ながら、進度に幅を持たせていく場合がある。

#### <学習方法>

授業ノートは復習をする際、最も有効な参考書となるため、できる限り丁寧に書くこと。また、家庭学習における復習を大切にすること。授業があった日にはノートを見直して内容を確認し、内容の定着のために出される宿題は必ず取り組み、わからないことがあれば積極的に質問に来ること。

### 授業スケジュール

1学期	図形と相似 1 相似な図形 2 三角形の相似条件 3 平行線と線分の比 4 中点連結定理 5 相似な図形の面積比、体積比 6 相似の利用	1学期中間試験
1学期	線分の比と計量 1 三角形の重心 2 線分の比と面積比 3 チェバの定理 4 メネラウスの定理	1学期期末試験
2学期	円 1 外心と垂心 2 円周角 3 円に内接する四角形 4 円の接線 5 接線と弦のつくる角 6 方べきの定理 7 2つの円	2学期中間試験
2学期	三平方の定理 1 三平方の定理 2 三平方の定理と平面図形 3 三平方の定理と空間図形	2学期期末試験
3学期	作図・空間図形	学年末試験

### 成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の割合が80%、課題試験の結果・小テストの結果・宿題の提出状況の割合が20%、合わせて100%として評価する。
小テストなど	0~20	
提出物	0~20	
授業での取り組み	0~20	

### 教科書・教材

書名	出版社	備考
体系数学2 幾何編	数研出版	
体系数学問題集2 幾何編	数研出版	

### 担当者からのアドバイス

学校の授業は学習における基本であり、その知識を理解し使えるようにすることが、その後続く内容において重要な役割をもっています。授業の中で生じた疑問はできる限りはやく解消することを心がけましょう。得た知識を使い、表現する力をつけることも重要であり、このために日々演習することが大切です。計算でも記述でも有効である事は気にとめておきましょう。証明など、書くことは時間がかかるようでも、それは大きな力となります。発見する楽しさ、わかることの喜び、論理的に説明することの大切さを学んでいきましょう。そして、思考力を高め、答えを出すだけでなく、答えを導き出す過程を大切にしていきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	理科 I	SG	3	古川

到達目標
高等学校で扱う基本的な理論化学を先取りしながら、中学校で扱う「化学」に関連する現象の本質を正しく理解する。また、化学式や化学反応の書き方を習得し、さらに物質量の概念に基づく種々の化学反応の定量的な議論ができるようになる。
授業の進め方・学習方法
教科書、板書、プリント、ICT機器などを活用します。プリント、教科書、PCは必ず持参して下さい。授業は1年間を通して化学分野となります。次の授業が始まるまでに前回までの「わからないところ」を残さない姿勢を貫きましょう。やや難易度の高い内容を扱うこともありますが、予習・復習をしっかり行えば大丈夫です。 ※定期試験にむけて 知識の暗記やパターン問題の機械的習得に走らないようにしましょう。一つ一つの疑問をていねいに解決させ、自分の言葉で用語や式の説明ができるようになります。

授業スケジュール	
1学期	第6章 化学変化とイオン（中学1年の復習） 第2節 電子配置とイオン 第5章 物質の化学変化 第2節 いろいろな化学変化と化学反応式 第3節 化学変化の決まり
1学期中間試験	
1学期	第5章 物質の化学変化 第4節 化学変化と量の関係
1学期期末試験	
2学期	第6章 化学変化とイオン 第1節 電解質と非電解質 第6節 酸とアルカリ 第7節 中和と塩
2学期中間試験	
2学期	第6章 化学変化とイオン 酸化還元の基本（教科書範囲外） 第4節 イオン化傾向
2学期期末試験	
3学期	第6章 化学変化とイオン 第5節 電池 第3節 電気分解
学年末試験	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	「理科」の評価は、理科第1分野第2分野を合算した点数をもとに算出されます。平常点は、理科実験の取り組み、実験レポート、その他課題や小テストなどにより評価します。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
未来へ広がるサイエンス2	啓林館	
系統的に学ぶ中学化学	文理	
系統的に学ぶ中学化学・問題集	文理	

担当者からのアドバイス
一つ一つの物質の性質や化学反応の本質を理解することで、化学の奥深さを知ることができると思います。1年間の化学の学習を通し、「粒子」の概念を獲得することで、高校課程以降の化学の学びにもつながります。煩雑な計算にとらわれることなく、どこまでも深く追究する姿勢でのぞみましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	理科II	SG	2	津元

到達目標
<p>第一学期は、動物の体内で行われている営みに関する事項、細胞の構造、生殖のしくみを学びます。</p> <p>第二学期は、生殖と遺伝のしくみ、生態系を学びます。</p> <p>第三学期は、進化を学びます。</p>

授業の進め方・学習方法
<p>授業はプリントを中心に教科書の内容を深めていきます。</p> <p>定期試験には、授業で扱った事項の他、理科実験で扱ったものも出題されます。</p> <p>第一学期期末試験以降は、それ以前に学習した範囲も出題されます。</p>

授業スケジュール			
1学期	第3章 動物の世界 第3節 血液の循環と不要物の排出 ・免疫	第5章 細胞 第1節 細胞のつくりとはたらき ・細胞小器官 ・細胞分画法 ・細胞内共生説	第2節 細胞のふえ方 ・分裂組織と幹細胞 ・染色体 ・体細胞分裂と細胞周期
1学期中間試験			
1学期	第6章 生殖と発生 第1節 生殖 ・無性生殖 ・有性生殖と染色体 ・減数分裂	・重複受精と染色体数と核相 ・動物の配偶子形成	第2節 動物の発生 ・発生と卵の種類 ・カエルの発生 ・ウニの発生
1学期期末試験			
2学期	第7章 遺伝 第1節 遺伝とそのしくみ ・遺伝と遺伝子 ・一遺伝子雑種 ・二遺伝子雑種 ・不完全優性と複対立遺伝子 ・検定交雑・遺伝子型の推定 ・伴性遺伝	第2節 DNAと染色体 ・染色体とDNAの構造 ・半保存的複製 ・アミノ酸とタンパク質 ・セントラルドグマのしくみ ・コドン表とアミノ酸配列 ・肺炎双球菌 ・T2ファージ	
2学期中間試験			
2学期	第9章 生物どうしのつながり 第1節 生態系 ・生態系の概要 ・食物連鎖や種間相互作用	第2節 生態系内での物質の循環とエネルギーの移動 ・生態系ピラミッド ・炭素と窒素の循環	第3節 生態系の保全 ・生態系の保全 第4節 人間の生活と自然 ・人間の生活と自然
2学期期末試験			
3学期	第8章 生物の進化 第1節 地質時代と生物の移り変わり ・化学進化と細胞内共生説 ・地質時代	第2節 生物の進化を探る ・示準化石と示相化石 ・相似器官と相同器官	第3節 進化はどのようにして起こるか ・適応放散と収束進化 ・いろいろな進化論
学年末試験			

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	「理科」の評価は、理科第1分野第2分野を合算した点数をもとに算出されます。 「理科実験」の評価は、「理科」とは別に、レポートの質や実験への取り組み等でつけられます。 これらの評価をもとに、年度末には「理科」としての成績が算出されます。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
系統的に学ぶ中学生物	文理	
系統的に学ぶ中学生物 問題集	文理	
未来へ広がるサイエンス	啓林館	

担当者からのアドバイス
<p>かつて「生命力」という不思議な力で信じられていた生物は、今やその仕組みの多くが解明されつつあります。</p> <p>不思議に見える生物の仕組みを学習し、巧妙なプログラムを知りましょう。</p> <p>花が咲いていることも、何気なく食べ物を食べて消化していることも、仕組みを知るとそこには思いもよらない綿密な仕組みがあります。深く深く知っていきましょう。</p>

教科	科目	コース	授業時間	担当者
外国語	英語	SG	4	今井

#### 到達目標

- Reading：物語やニュースなどの身近なことにに関する比較的平易な文章を理解することができる。
- Listening：身近なことにに関する話や指示を理解することができる。
- Writing：限定された話題について意見や感想など、まとまった文章を書くことができる。
- Speaking：身近なことや自分のことについて、簡単な会話をしたり、意見を述べたりすることができる。

#### 授業の進め方・学習方法

- 教科書の各Lessonの文法を解説し、学んだ文法事項の具体的な使われ方を本文を通じて理解する。
- 教科書の新出単語や文法の定着度を測るために定期的に小テストを実施する。
- 教科書の反復的な音読・暗唱を通して、英語の「音」と「意味」を直結させ、スピーキング力とリスニング力の向上を目指す。
- 家庭学習（New Treasure準拠の文法問題集）を通して、基礎の定着、並びに幅広い応用力を身につける。
- キクタンを使用し、単語テストを実施することで語彙力を強化する。

#### 授業スケジュール

1学期	<<New Treasure Stage2 >> Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3
1学期中間試験	
1学期	<<New Treasure Stage2 >> Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5
1学期期末試験	
2学期	<<New Treasure Stage2 >> Lesson 6 Lesson 7
2学期中間試験	
2学期	<<New Treasure Stage2 >> Lesson 8 Lesson 9
2学期期末試験	
3学期	<<New Treasure Stage2 >> Lesson 10 Lesson 11
学年末試験	

#### 成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験結果及び、授業内での取り組み・提出物・小テストなどを総合的に評価する。
レポート	0~20	
小テストなど		
授業での取り組み		

#### 教科書・教材

書名	出版社	備考
New Treasure Stage2 3rd Edition 教科書	Z会出版	主に授業中に使用します。
New Treasure Stage2 3rd Edition 文法問題集	Z会出版	主に家庭学習で使用します。
New Treasure Stage2 3rd Edition CD	Z会出版	主に家庭学習での音読の際のモデルとして使用します。

#### 参考書

書名	著者	出版社	備考
キクタン【中学英単語】		アルク	主に家庭学習で使用します。

#### 担当者からのアドバイス

中学1年生の時に築いた「言語の土台」を確実に定着させ、応用していきましょう。授業では読むこと・聞くこと・書くこと・話すことの4技能5領域をバランスよく取り扱い、学習を進めていきます。そのため、日々の家庭学習ではしっかりと振り返りをしましょう。また、様々な問題を解く上で単語力は欠かせません。単語の意味は1つだけでなく、文脈に応じて和訳できるように複数覚えましょう。意味だけでなく、実用的な英語力を身に付けるためには品詞や発音の仕方も抑えていくことが重要です。1年間、一緒に頑張りましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
外国語	English	SG	3	パーカー

#### 到達目標

The aim of this course is to improve all areas of English for SG students. We practice reading, writing, speaking, listening (and thinking), all in English. Students will gain lots of new vocabulary and practice grammar in an engaging way. The primary focus of this course is communication: students will speak a lot with one another in natural English.

#### 授業の進め方・学習方法

Students will use Solutions Pre-Intermediate as a base, they will also use a variety of supplementary materials, games, language aids and other resources. Students will also be encouraged to complete self-study materials which include grammar practice, reading, writing, listening and more at their own pace.

#### 授業スケジュール

1学期	Unit 1A: Likes and dislikes Unit 1B: Contrasting present simple and present continuous Unit 1C: Describing people Unit 1D: Articles Unit 1A: How do you feel? Unit 1B: Past simple (affirmative)
1学期中間試験	
1学期	Unit 1D: Past simple (negative and interrogative) Unit 1E: Adjective endings Unit 1F: Reading: Medical conditions Unit 1G: Narrating events Unit 1H: Describing events
1学期期末試験	
2学期	Unit 2A: Landscapes Unit 2B: Past continuous Unit 2C: Adjectives in action Unit 2D: Contrast: Past simple and continuous Unit 2E: Word building Unit 2F: Reading: Lost at Sea Unit 2G: Photo description Unit 2H: Writing an invitation
2学期中間試験	
2学期	Unit 3A: Films, TV Unit 3B: Quantity Unit 3C: Advertising Unit 3D: Rules: must, need, have to Unit 3E: Negative prefixes Unit 3F: Reading: Video games and health Unit 3G: Reaching an agreement Unit 3H: Writing an informal letter
2学期期末試験	
3学期	Unit 4A: Weather Unit 4B: Comparisons Unit 4C: Eyewitness Unit 4D: Superlatives Unit 4E: Phrasal verbs Unit 4F: Reading: Gliders in the storm Unit 4G: Photo comparison Unit 4H: Writing an article
学年末試験	

#### 成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	60%	Two main kinds of test will be given: speaking and writing. The writing tests will be held during the regular test periods. The speaking tests are not summative, but formative in nature, so will be held throughout the term. There will also be some in-class tests such as listening tests. The regular timely submission of homework also forms part of the students assessment. The students will also submit their notebook for assessment at the end of each term.
レポート		
小テストなど	20%	
授業での取り組み	20%	

#### 教科書・教材

書名	出版社	備考
Solutions: Pre-Intermediate - Student's Book	OUP	978-0-19-451056-1 Third Edition
Solutions: Pre-Intermediate - Workbook	OUP	978-0-19-451059-2 Third Edition

#### 担当者からのアドバイス

1. Try to use English at all times in this class, both with the teacher and your classmates.
2. Aim to improve, not to be perfect. Do not worry about making mistakes!
3. Collaborate with your classmates to create a positive and supportive learning environment.
4. Take neat, detailed notes in class and review all your lessons.
5. Don't give up and if you forget something: learn it again.
6. Do all your homework and submit it before the deadline!
7. Ask if you don't understand anything.
8. Read as much as you can.
9. Go online and access English.
10. Watch movies, listen to songs and learn to enjoy English.